

中嶋嶺雄文庫				
1964 (昭和 39) 年	28 歳	『現代中国論—イデオロギーと政治の内的考察』青木書店 (増補版 1971 年)		1
1966 (昭和 41) 年	30 歳	『中国文化大革命—その資料と分析』弘文堂		2
1971 (昭和 46) 年	35 歳	『中国をみつめて—私の香港通信』文藝春秋		3
1972 (昭和 47) 年	36 歳	『中国像の検証』中央公論社		4
		『実践論・矛盾論—毛沢東重要論文選』(訳) 講談社		5
		『米中接近』(監訳) 時事通信社		6
1973 (昭和 48) 年	37 歳	『現代中国と国際関係』日本能率協会		7
		『毛沢東語録』(訳) 講談社文庫		8
1976 (昭和 51) 年	40 歳	『毛沢東最後の挑戦』(共著) ダイヤモンド タイム社		9
1977 (昭和 52) 年	41 歳	『逆説のアジア』北洋社		10
		『江青』(上) (共訳) パシフィカ		11
		『江青』(下) (共訳) パシフィカ		12
1978 (昭和 53) 年	42 歳	『中ソ対立と現代—戦後アジアの再考察』中央公論社		13
1979 (昭和 54) 年	43 歳	『建国 30 年の中国』(編) 自由民主党		14
		『毛沢東伝』(上) (訳) 講談社文庫		15
		『毛沢東伝』(下) (訳) 講談社文庫		16
1980 (昭和 55) 年	44 歳	『新冷戦の時代』TBS ブリタニカ		17
		『失われた中国革命』(編訳) 新評論		18
		『中国の悲劇』(中訳版) 中央日報出版部		19
1981 (昭和 56) 年	45 歳	『中国現代史—壮大なる歴史のドラマ』有斐閣		20
		『日本共産党と中国共産党—和解の道程 記録』(解説) 日中出版		21
		『北京烈烈 文化大革命とは何であったか』(上) 筑摩書房		22
		『北京烈烈 文化大革命とは何であったか』(下) 筑摩書房		23
1982 (昭和 57) 年	46 歳	『中国—歴史・社会・国際関係』中央新書		24
		『中ソ同盟の衝撃—日本の安全と経済はどうなるか』光文社		25
1984 (昭和 59) 年	48 歳	『知識人と論壇—今日の変貌の断面』東洋経済新報社		26
		『文明の再鑄造を目指す中国』筑摩書房		27
		『現代中国の政治と戦略—革命国家はこのまま「西側化」するのか』PHP 研究所		28
1985 (昭和 60) 年	49 歳	『香港 移りゆく都市国家』時事通信社		29
		『10 年後の中国—甘い幻想に酔う日本人への警鐘』第一企画出版		30
1986 (昭和 61) 年	50 歳	『日本人と中国人ここが大違い「異母兄弟にみる愛憎の構図」』ネスコ/文藝春秋		31
		『21 世紀は日本・台湾・韓国だ—いま東アジアが世界をリードする』第一企画出版		32
		『中共的政治與戦略』国立政治大学国際関係研究中心 中文叢書		33

1987（昭和 62）年	51 歳	『ゴルバチョフソ連の読み方—新戦略の真意は何か』 第一企画出版	34
		『中国に呪縛される日本』 文藝春秋	35
		『相手の裏を知らない経済戦争—米・ソ・中…に手も出なくなった日本』 青春出版社	36
		『21 世紀は日本・台湾・韓国だ—いま東アジアが世界をリードする』 三笠書房	37
1988（昭和 63）年	52 歳	『中ソの戦略・日本の選択』 PHP 研究所	38
1989（平成元）年	53 歳	『地域研究と第三世界』（編） 慶応義塾大学地域研究センター	39
		『地域研究の現在—既成の学問への挑戦』（共編） 大修館書店	40
		『中国の悲劇』 講談社	41
1990（平成 2）年	54 歳	『中国革命とは何であったか』 筑摩書房	42
		『歴史が求めているものは何か—社会主義の行方・資本主義の選択 90 年代の国際関係を読む』 PHP 研究所	43
		『晴陽句集—一人と作品』（編） 東洋出版	44
1991（平成 3）年	55 歳	『リヴォフのオペラ座』 文藝春秋	45
		『中国の実験—改革下の広東』（監訳） 日本経済新聞社	46
1992（平成 4）年	56 歳	『東アジア比較研究』 日本学術振興会	47
		『反・革命の時代—ソ連崩壊後のアジアと日本』 PHP 研究所	48
		『国際関係論—同時代史への羅針盤』 中央公論社	49
		『最後の龍 鄧小平伝』（監修） 時事通信社	50
		『日本と中国』（編著） 東京書籍	51
1993（平成 5）年	57 歳	『転換期としての現代世界—地域から何が見えるのか』（共編） 国際書院	52
		『解体する中国—鄧小平のゆくえ』（共著） 東洋経済新報社	53
		『三つの中国—連携と相反』 日本経済新聞社	54
1995（平成 7）年	59 歳	『中国経済が危ない』 東洋経済新報社	55
		『中国の外交』（共著） 白水社	56
		『中国はこうなる！—鄧小平なきあとの危険な大国の深層』 講談社	57
		『アジアの世紀は本当か—ポスト鄧小平をズバリ読む！』（共著） PHP 研究所	58
1996（平成 8）年	60 歳	『日本にアジア戦略はあるのか—幻想の中国・有事の極東』（共著） PHP 研究所	59
		『中国危機と日本—香港返還を読む』（共著） 光文社	60
		『「大中国」はどうなる』（共著） 文藝春秋	61
1997（平成 9）年	61 歳	『沈みゆく香港』 日本経済新聞社	62
		『香港回帰—アジア新世紀の運命』 中央公論社	63
		『私の半生』 松本タウン情報社	64
1998（平成 10）年	62 歳	『中国政治経済分析—新世紀への展望』（監訳） 丸善	65
		『アジアは復活するのか—経済危機と日本の戦略』（共著） PHP 研究所	66

1999（平成 11）年	63 歳	『アジアに未来はあるのか—憂鬱の中国、絶望の北朝鮮、危うい日本』（共著）PHP 研究所	67
		『21 世紀の感性教育』（共著）六甲出版	68
2000（平成 12）年	64 歳	『アジアの知略 日本は歴史と未来に自信を持って』（共著）光文社	69
		『中国は脅威か—幻想の日中友好』（共著）PHP 研究所	70
2001（平成 13）年	65 歳	『オンフルールの波止場にて』三修社	71
		『威圧の中国 日本の卑屈—新冷戦時代の幕開け』（共著）ビジネス社	72
2002（平成 14）年	66 歳	『2008 年中国の真実—覇権か、崩壊か』（共著）ビジネス社	73
2004（平成 16）年	68 歳	『21 世紀の大学—開かれた知の拠点へ』論創社	74
2005（平成 17）年	69 歳	『中国暴発 なぜ日本のマスコミは真実を伝えないのか』（共著）ビジネス社	75
2006（平成 18）年	70 歳	『米中新戦争 暴走中国、封じ込めるアメリカ』（共著）ビジネス社	76
		『歴史の嘘を見破る—日中近現代史の争点 35』（編著）文藝春秋	77
		『李登輝実録—台湾民主化への蔣経国との対話』（共著）産経新聞社	78
2008（平成 20）年	72 歳	『日本人と中国人ここが大違い「目からウロコ」の比較文化論』PHP 研究所	79
2009（平成 21）年	73 歳	『音楽は生きる力』西村書店	80
		『Suzuki Method』才能教育研究会	81
2010（平成 22）年	74 歳	『「全球（グローバル）」教育論』西村書店	82
		『なぜ、国際教養大学で人材は育つのか』祥伝社	83
		『超大国中国の本質』（共編著）KK ベストセラーズ	84
2011（平成 23）年	75 歳	『世界に通用する子供の育て方』フォレスト出版	85
		『日本人の教養—混迷する現代を生き抜くために』朝日新聞出版	86
2012（平成 24）年	76 歳	『学歴革命 秋田発国際教養大学の挑戦』KK ベストセラーズ	87
2014（平成 26）年		弔詞「春の穏やかな陽のように」村上龍 文藝春秋	88